

中小企業動向調査

この調査は富山県内企業322社を対象に実施し、262社より回答があり、その結果をまとめたものである。

企業の調査資料として、平成26年7月～9月の実績、平成26年10月～12月の見込み、平成27年1月～3月の先行き見通しを集約した概要である。なお、季節調整は行っていない。

調査時期：平成26年9月下旬

	調査対象企業数	有効回答企業数	有効回答率
製 造 業	133	109	82.0%
非 製 造 業	189	153	81.0%
計	322	262	81.4%

日銀が11月13日に公表した、北陸の金融経済月報（2014年11月）によると、「北陸の景気は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の影響が残存しているが、穏やかに回復している。

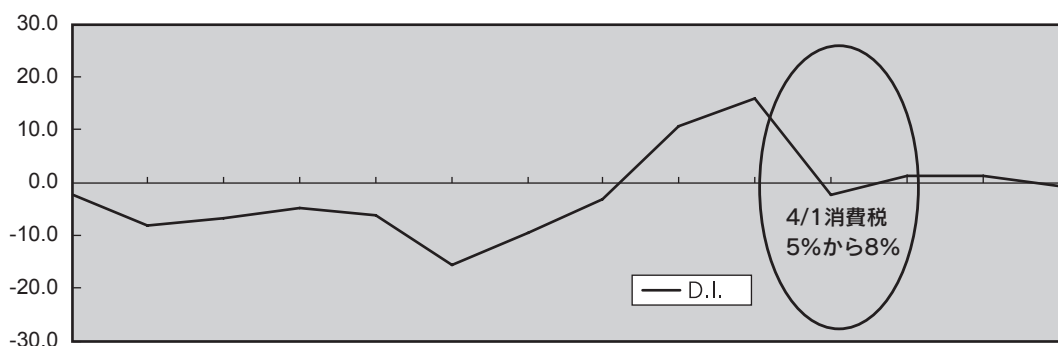
最終需要をみると、個人消費は基調として穏やかに持ち直している。また、設備投資は増加しているほか、公共投資は高水準ながらも減少傾向にあり、住宅投資は横ばい圏内で推移している。

先行きについては、穏やかな回復基調を続け、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動などの影響も和らいでいくとみられる。」としている。

I. 企業概況

企業概況の推移……（全産業）

期別 種別	（%）														見込	予測
	23年	24 年				25 年				26 年				27年		
	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月		
良 い	17.9	15.1	14.3	14.7	15.7	10.4	14.2	13.7	24.3	26.7	15.5	17.5	14.7	12.1		
普 通	61.8	61.6	64.6	65.8	62.5	63.7	62.2	69.6	62.0	62.6	66.5	66.1	71.7	75.1		
悪 い	20.3	23.3	21.1	19.5	21.8	25.9	23.6	16.7	13.8	10.7	17.9	16.3	13.6	12.8		
D . I .	-2.4	-8.2	-6.8	-4.8	-6.1	-15.5	-9.4	-3.1	10.5	16.0	-2.4	1.2	1.2	-0.8		

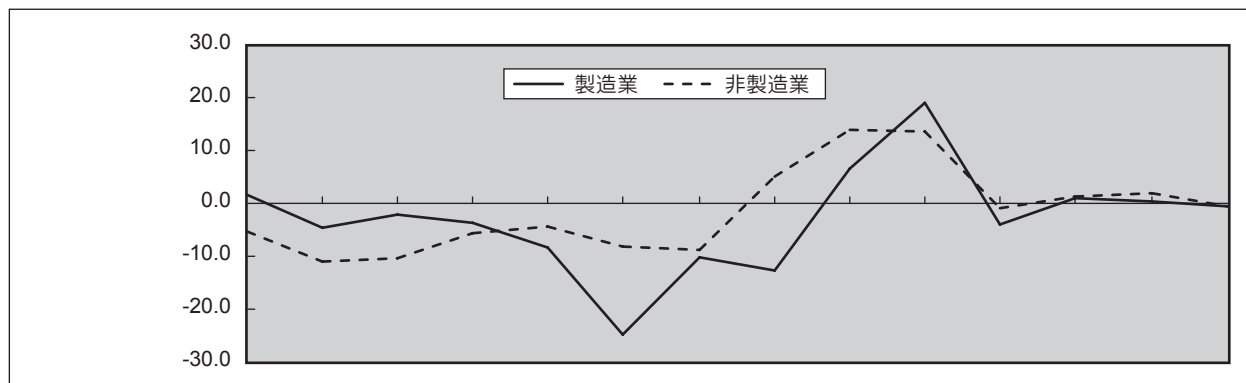


企業概況の推移……（うち製造業のみ）

		(%)														見込	予測	
種別	期別	23年				24年				25年				26年				27年
		10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月			
良	い	21.6	19.4	16.2	15.3	13.6	6.2	16.8	10.5	21.6	28.9	17.6	19.4	15.7	13.0			
普	通	58.2	56.6	65.4	65.6	64.4	62.8	56.0	66.2	63.2	61.2	60.5	62.0	68.5	73.1			
悪	い	20.1	24.0	18.5	19.1	22.0	31.0	27.2	23.3	15.2	9.9	21.8	18.5	15.7	13.9			
D . I .		1.5	-4.7	-2.3	-3.8	-8.5	-24.8	-10.4	-12.8	6.4	19.0	-4.2	0.9	0.0	-0.8			

企業概況の推移……（うち非製造業のみ）

		(%)														見込	予測	
種別	期別	23年				24年				25年				26年				27年
		10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月			
良	い	15.0	11.7	12.8	14.3	17.5	13.7	12.0	16.3	26.5	24.8	13.6	16.1	14.0	11.4			
普	通	64.7	65.6	64.0	65.8	60.8	64.4	67.3	72.5	60.9	63.8	72.0	69.1	74.0	76.5			
悪	い	20.4	22.7	23.2	19.9	21.7	21.9	20.7	11.3	12.6	11.3	14.4	14.8	12.0	12.1			
D . I .		-5.4	-11.0	-10.4	-5.6	-4.2	-8.2	-8.7	5.0	13.9	13.5	-0.8	1.3	2.0	-0.7			



(1) 富山県内の中小企業の業況を全産業で見ると、業況判断指数D.I.「良い－悪い」の26年7～9月期実績は1.2と前期比3.6ポイント改善した。

先行きについて、26年10～12月期のD.I.は1.2、27年1～3月期のD.I.は-0.8と悪化する予想となっている。

前年は、消費税の引上げ前の駆け込み需要から、1～3月期に向け改善となっていたが、今回調査では、例年と同じ悪化していく予想となっている。

(2) 業況判断指数D.I.の26年7～9月期を製造業と非製造業に分けてみると、製造業は前期より5.1ポイント改善、非製造業は前期より2.1ポイント改善となった。先行きについてはどちらも悪化予想となっている。

II. 売上高状況

売上高状況

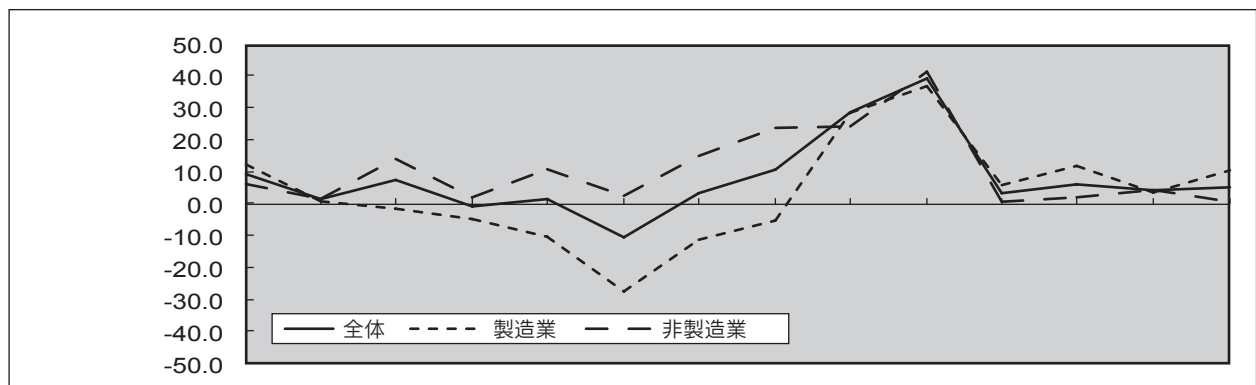
		(%)													見込	予測		
種別	期別	23年				24年				25年				26年				27年
		10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月			
増加		36.5	30.0	33.5	26.3	28.4	22.3	30.6	32.3	43.1	53.0	29.9	31.4	25.4	20.8			
横ばい		35.9	41.4	40.3	46.4	44.7	45.2	42.1	45.9	39.9	33.2	43.4	43.3	53.5	63.3			
減少		27.5	28.6	26.3	27.3	26.9	32.6	27.4	21.7	17.5	13.8	26.7	25.3	21.2	15.9			
D. I.		9.1	1.3	7.2	-1.0	1.5	-10.3	3.2	10.5	28.6	39.3	3.2	6.1	4.2	5.0			

売上高状況（うち製造業のみ）

		(%)													見込	予測		
種別	期別	23年				24年				25年				26年				27年
		10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月			
増加		36.2	27.9	28.0	24.4	24.5	12.3	22.8	25.3	46.0	53.3	32.2	35.2	22.4	23.4			
横ばい		39.9	45.0	42.6	46.6	40.7	48.2	43.3	44.0	36.5	30.3	41.5	41.7	58.9	63.6			
減少		23.9	27.1	29.4	29.0	34.8	39.5	33.8	30.6	17.5	16.4	26.3	23.1	26.7	13.1			
D. I.		12.3	0.8	-1.6	-4.6	-10.2	-27.2	-11.0	-5.2	28.6	36.9	5.9	12.0	3.7	10.3			

売上高状況（うち非製造業のみ）

		(%)													見込	予測		
種別	期別	23年				24年				25年				26年				27年
		10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月			
増加		36.8	31.5	37.8	27.8	31.5	30.0	37.1	38.2	40.8	52.9	27.8	28.7	27.4	19.0			
横ばい		32.7	38.7	38.4	46.3	47.9	42.9	41.1	47.5	42.8	35.7	45.1	44.4	49.7	63.2			
減少		30.4	29.8	23.8	25.9	20.6	27.2	21.8	14.4	16.4	11.4	27.1	26.8	22.9	17.8			
D. I.		6.4	1.8	14.0	1.9	11.0	2.7	15.2	23.8	24.3	41.4	0.8	2.0	4.6	1.3			



- (1) 売上高は、前年同期比較での増減について回答を受けている項目である。今回調査では、となり、前期より2.9ポイント改善の回答となった。
先行きについては、26年10~12月期はD. I.は4.2となり、27年1~3月は5.0であり、やや悪化予想である。
- (2) 売上高状況D.I.を製造業と非製造業に分けても、どちらも改善している。
先行きについて、製造業は、10~12月は悪化するが、27年は改善予想となっている。
非製造業は、逆に10~12月期はやや改善するが、27年は悪化予想となった。

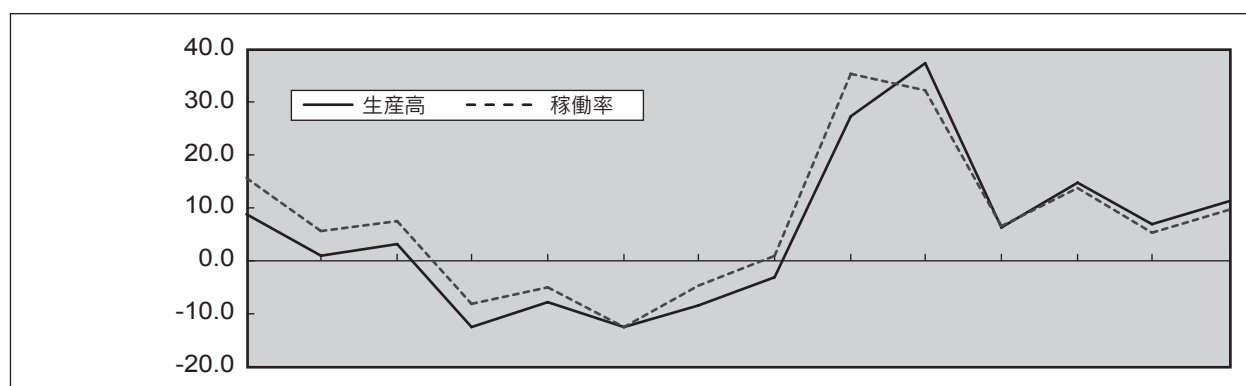
Ⅲ. 生産高・稼働率状況

生産高状況（製造業のみ）

		(%)													見込	予測
期別 種別	23年	24年				25年				26年				27年		
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月		
20%以上増加	6.5	6.1	5.6	4.7	5.1	0.9	5.5	3.9	7.4	13.6	3.5	5.7	1.7	0.0		
20%未満増加	28.1	22.1	25.0	17.2	20.5	19.6	17.2	19.5	33.1	38.1	27.8	27.9	21.4	23.1		
横ばい状況	39.6	44.3	41.9	43.8	41.0	46.4	46.1	50.0	46.3	33.9	43.5	47.5	60.7	65.0		
20%未満減少	22.3	25.2	22.6	28.1	29.1	24.1	21.9	24.2	11.6	13.6	23.5	17.2	15.4	11.1		
20%以上減少	3.6	2.3	4.8	6.3	4.3	8.9	9.4	2.3	1.7	0.8	1.7	1.6	0.9	0.9		
D . I .	8.6	0.8	3.2	-12.5	-7.7	-12.5	-8.6	-3.1	27.3	37.3	6.1	14.8	6.8	11.1		

稼働率（製造業のみ）

		(%)													見込	予測
期別 種別	23年	24年				25年				26年				27年		
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月		
上昇	7.4	6.4	4.9	5.7	6.1	0.9	4.7	4.0	8.6	12.9	3.6	5.1	4.3	0.9		
やや上昇	29.6	21.6	25.2	13.9	10.2	17.9	16.5	20.0	33.6	33.6	25.0	26.5	17.4	21.6		
横ばい	41.5	49.6	47.2	52.5	42.1	50.0	52.8	52.8	50.9	38.8	49.1	50.4	61.7	64.7		
やや下降	18.5	19.2	19.5	22.1	27.2	23.2	15.7	20.0	5.2	14.7	20.5	17.1	15.7	12.9		
下降	3.0	3.2	3.3	5.7	4.4	8.0	10.2	3.2	1.7	0.0	1.8	0.9	0.9	0.0		
D . I .	15.6	5.6	7.3	-8.2	-5.3	-12.5	-4.7	0.8	35.3	31.9	6.3	13.7	5.2	9.5		

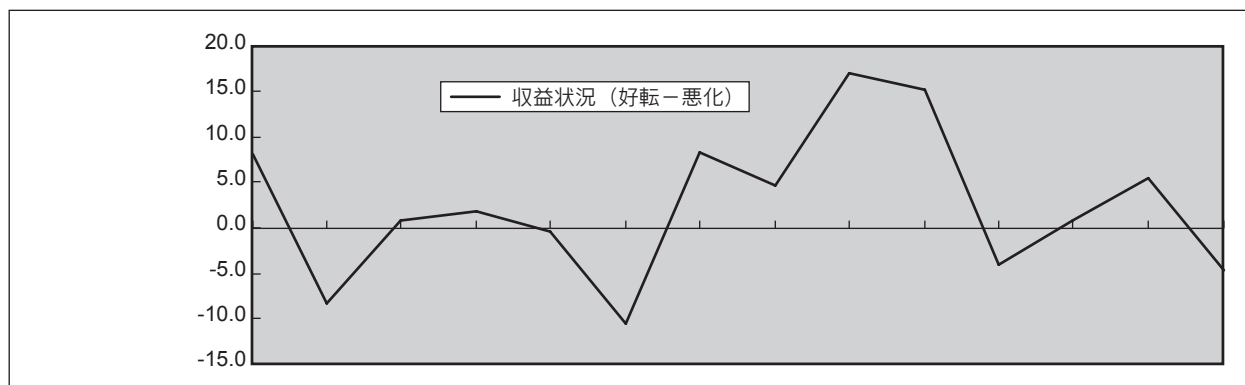


- 生産高・稼働率ともに売上高と同様、前年同期比での増減について回答を受けている項目である。製造業の生産高状況D.I.は14.8となり、前期比8.7ポイント改善した。
先行きについては、今期より悪化予想となっている。
- 稼働率についても、前期より7.4ポイント改善している。
先行きについては、生産高同様に今期比悪化予想となっている。

IV. 収益状況

収益状況（好転－悪化）

期別 種別	23年	24年				25年				26年				見込	予測	
	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月		
好転	26.4	17.0	19.5	19.7	20.8	15.8	25.2	19.3	28.5	29.9	14.6	20.8	18.5	13.6		
横ばい	55.3	57.7	61.6	62.2	58.1	57.9	57.9	66.1	60.1	55.3	66.8	59.2	68.3	68.1		
悪化	18.3	25.3	18.9	18.0	21.1	26.3	16.9	14.6	11.4	14.8	18.6	20.0	13.1	18.3		
D.I.	8.0	-8.3	0.7	1.7	-0.4	-10.5	8.3	4.7	17.1	15.2	-4.0	0.8	5.4	-4.7		



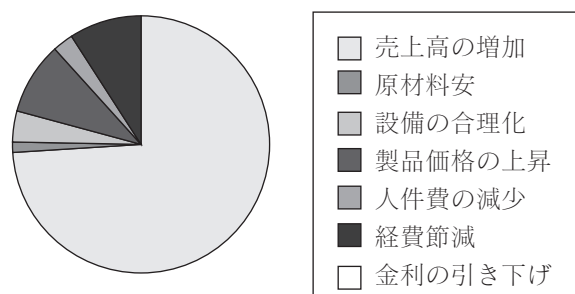
好転理由

期別 種別	23年	24年				25年				26年				見込	予測	
	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月		
売上高の増加	73.5	66.2	67.6	64.4	70.8	61.8	64.5	72.5	82.1	83.0	68.6	74.0	75.4	74.4		
原材料安	4.1	1.5	9.9	4.1	4.6	1.8	4.3	0.0	1.1	0.0	3.9	1.3	1.8	0.0		
設備の合理化	1.0	0.0	0.0	1.4	3.1	1.8	3.2	4.3	3.2	2.3	5.9	3.9	3.5	4.7		
製品価格の上昇	2.0	2.9	2.8	2.7	3.1	5.5	4.3	5.8	2.1	0.0	9.8	9.1	5.3	14.0		
人件費の減少	3.1	4.4	2.8	6.8	0.0	7.3	4.3	4.3	4.2	2.3	2.0	2.6	3.5	0.0		
経費節減	16.3	22.1	16.9	19.2	16.9	18.2	18.3	13.0	7.4	11.4	5.9	9.1	8.8	4.7		
金利の引き下げ	0.0	2.9	0.0	1.4	1.5	3.6	1.1	0.0	0.0	1.1	3.9	0.0	1.8	2.3		

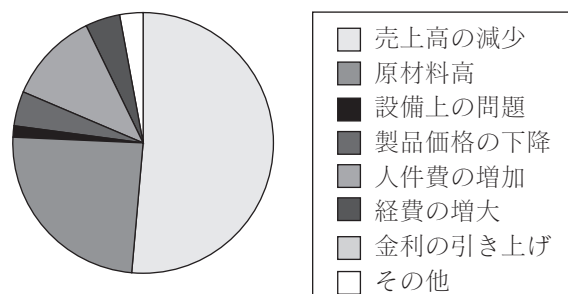
悪化理由

期別 種別	23年	24年				25年				26年				見込	予測	
	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月		
売上高の減少	50.0	55.6	59.2	56.8	51.3	66.3	62.5	48.4	53.5	55.4	51.4	51.4	50.0	53.7		
原材料高	18.3	14.8	17.1	13.5	10.3	10.8	12.5	19.4	20.9	10.7	18.6	24.3	22.9	19.4		
設備上の問題	1.2	0.9	0.0	1.4	3.8	1.2	0.0	6.5	0.0	0.0	1.4	1.4	2.1	0.0		
製品価格の下降	11.0	8.3	6.6	14.9	11.5	4.8	7.8	4.8	7.0	8.9	5.7	4.3	8.3	7.5		
経費の増大	8.5	11.1	5.3	9.5	12.8	9.6	9.4	6.5	14.0	14.3	11.4	11.4	8.3	9.0		
人件費の増加	4.9	2.8	6.6	2.7	2.6	2.4	3.1	8.1	0.0	3.6	8.6	4.3	2.1	1.5		
金利の引き上げ	0.0	0.9	0.0	1.4	0.0	0.0	1.6	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5		
その他	6.1	5.6	5.3	0.0	7.7	4.8	3.1	4.8	4.7	7.1	2.9	2.9	6.3	7.5		

好転理由



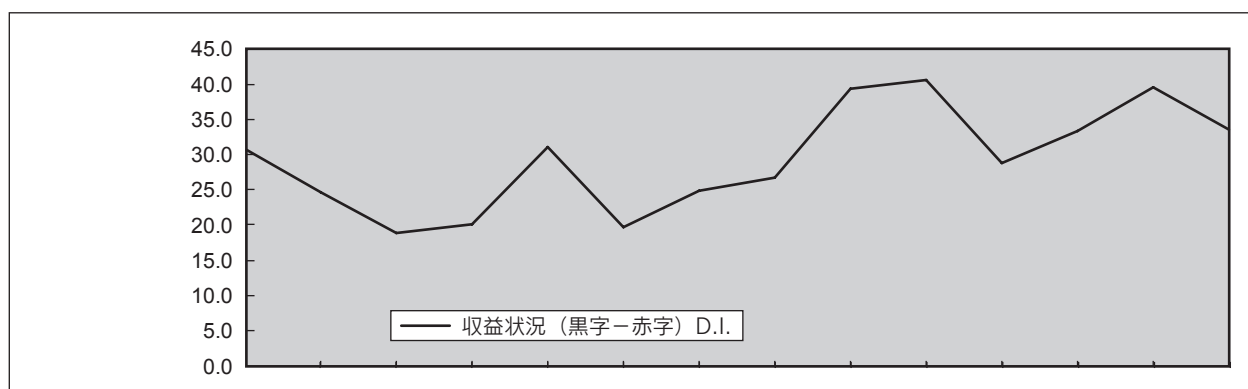
悪化理由



- (1) 収益状況「好転－悪化」D.I.は、前期比4.8ポイント改善し、0.8となった。
 収益は、プラスポイントとなり、やや改善した。先行きの10～12月期は今期以上のポイントとなっているが、27年には再び悪化し、マイナスポイントの予想となっている。
- (2) 今期収益が好転した理由は、「売上高の増加」が74.0%で最も多く、前期より増加した。「原材料安」「設備の合理化」を理由とするポイントは減少している。
 先行きについても理由の順位は、「売上高の増加」を好転理由とするポイントが高くなる予想である。
- (3) 収益が悪化した理由では、「売上高の減少」とするポイントが51.4%と前期と同じであるが、「原材料高」を理由とするポイントが増加した。
 先行きについても、「売上高の減少」「原材料高」を理由とするポイントが高く、「製品価格の下降」とするポイントが増加予想となっている。

収益状況（黒字－償却後赤字）

種別	期別	(%)														
		23年				24年				25年				26年		27年
		10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	
黒字		47.4	44.3	41.0	39.1	46.7	39.0	44.3	42.5	53.8	53.5	45.1	49.4	52.2	47.2	
収支トントン		35.9	36.0	36.9	41.9	37.7	41.7	36.3	41.8	31.8	33.7	38.6	34.5	35.2	39.0	
償却後赤字		16.8	19.7	22.1	19.0	15.6	19.3	19.4	15.8	14.4	12.8	16.3	16.1	12.6	13.8	
D . I .		30.6	24.6	19.0	20.1	31.1	19.7	24.9	26.7	39.4	40.7	28.9	33.3	39.5	33.5	



- (4) 収益状況「黒字－償却後赤字」D.I.は33.3となり、前期比4.4ポイント改善となった。
 先行きについてD.I.は10～12月期改善予想となっているが、27年1～3月にはやや悪化予想。
 収益状況は、25年4～6月期より改善傾向にあったが、消費税増税後悪化し、7～9月期から持ち直してきている。

V. 製品在庫水準

製品在庫水準

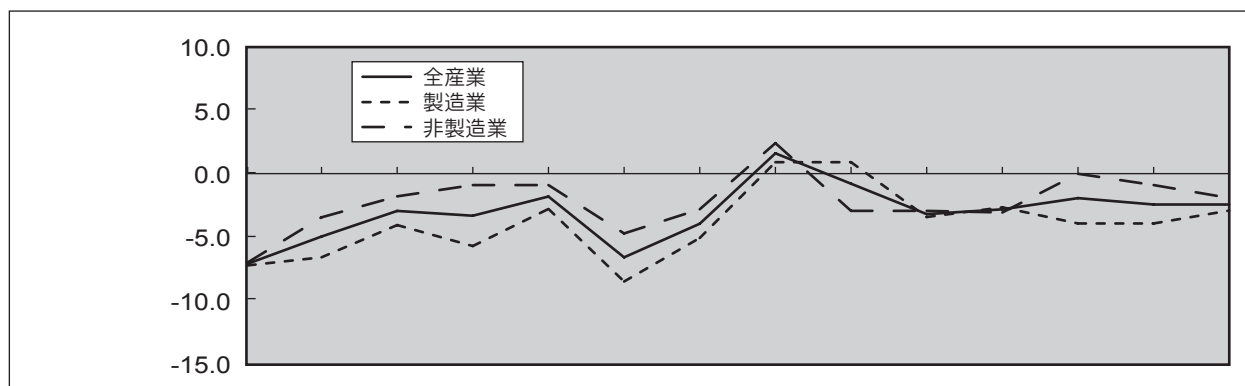
		(%)														見込	予測
期別 種別	23年	24年				25年				26年				27年			
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月			
不足	1.3	3.8	3.9	2.5	2.9	0.9	3.6	5.2	4.6	3.2	2.9	4.4	3.0	2.5			
適正	90.4	87.4	89.3	91.5	92.3	91.5	88.8	91.3	89.9	90.3	91.3	89.2	91.6	92.6			
過剰	8.3	8.8	6.9	5.9	4.8	7.5	7.6	3.6	5.5	6.5	5.8	6.4	5.4	5.0			
D.I.	-7.1	-5.0	-3.0	-3.4	-1.9	-6.6	-4.0	1.6	-0.9	-3.2	-2.9	-2.0	-2.5	-2.5			

製品在庫水準（うち製造業のみ）

		(%)														見込	予測
期別 種別	23年	24年				25年				26年				27年			
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月			
不足	1.6	4.1	2.5	1.6	2.8	1.9	5.1	6.3	5.2	3.5	4.5	5.0	4.0	3.0			
適正	89.6	85.1	91.0	91.0	91.7	87.7	84.7	88.3	90.4	89.4	88.4	86.0	87.9	90.9			
過剰	8.8	10.7	6.6	7.4	5.5	10.4	10.2	5.5	4.3	7.1	7.1	9.0	8.1	6.1			
D.I.	-7.2	-6.6	-4.1	-5.7	-2.8	-8.5	-5.1	0.8	0.9	-3.5	-2.7	-4.0	-4.0	-3.0			

製品在庫水準（うち非製造業のみ）

		(%)														見込	予測
期別 種別	23年	24年				25年				26年				27年			
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月			
不足	0.9	3.4	5.4	3.5	3.0	0.0	1.9	4.0	3.9	2.9	1.0	3.9	1.9	1.9			
適正	91.3	89.7	87.4	92.1	93.0	95.3	93.4	94.4	89.2	91.3	94.8	92.2	95.1	94.2			
過剰	7.8	6.8	7.2	4.4	4.0	4.7	4.7	1.6	6.9	5.8	4.2	3.9	2.9	3.9			
D.I.	-7.0	-3.4	-1.8	-0.9	-1.0	-4.7	-2.8	2.4	-2.9	-2.9	-3.1	0.0	-1.0	-1.9			



- 全産業の製品在庫水準「不足-過剰」D.I.は、26年7~9月期は▲2.0となり、前期比0.9ポイント改善となった。在庫は25年10~12月期より過剰の回答となっている。
製品在庫は、先行きについても、過剰予想である。
- 業種別では、製造業のD.I.は▲4.0となり、前期比1.3ポイント悪化となった。
反対に、非製造業は3.1ポイントの改善となった。しかし、先行きは過剰のポイントが高くなっている。

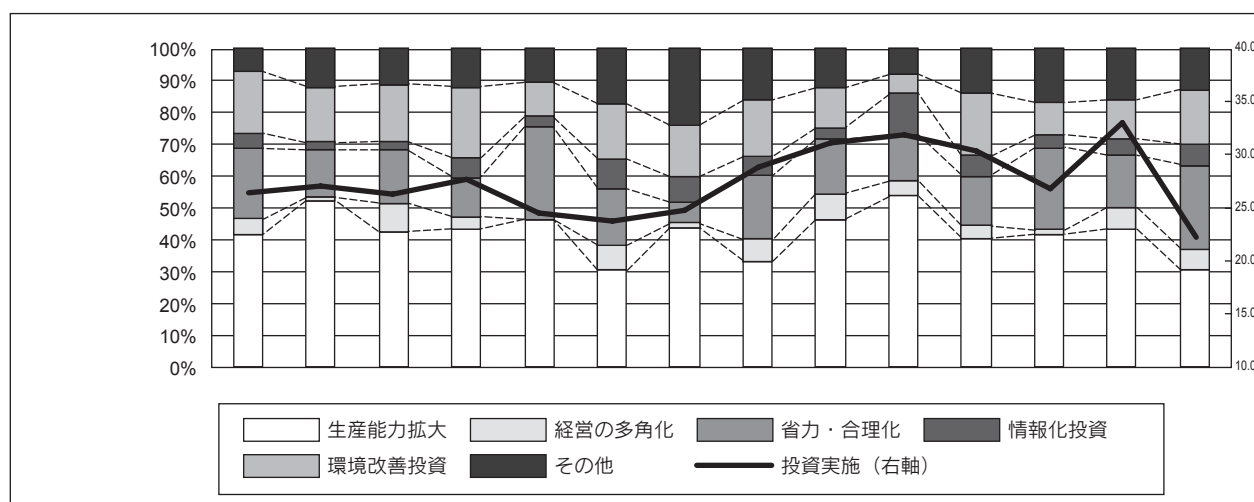
VI. 設備投資動向

設備投資の有無

		(%)													見込	予測
期別 種別	23年	24年				25年				26年				27年		
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
投資実施	26.3	27.0	26.2	27.6	24.4	23.7	24.7	28.7	31.0	30.3	30.3	26.7	33.0	22.2		
投資せず	73.7	73.0	73.8	72.4	75.6	76.3	75.3	71.3	69.0	69.7	69.7	73.3	67.0	77.8		

設備投資の目的（実施先について）

	(%)													
生産能力拡大	41.5	51.9	42.3	43.2	46.2	30.2	39.1	32.9	46.0	40.3	40.3	41.4	43.2	30.3
経営の多角化	4.9	1.2	9.0	3.7	0.0	7.9	1.4	7.1	8.0	3.9	3.9	1.4	6.8	6.6
省力・合理化	22.0	14.8	16.7	12.3	29.2	17.5	5.9	20.0	17.2	15.6	15.6	25.7	16.2	26.3
情報化投資	4.9	2.5	2.6	6.2	3.1	9.5	7.2	5.9	3.4	6.5	6.5	4.3	5.4	6.6
環境改善投資	19.5	17.3	17.9	22.2	10.8	17.5	14.5	17.6	12.6	19.5	19.5	10.0	12.2	17.1
その他	7.3	12.3	11.5	12.3	10.8	17.5	21.7	16.5	12.6	14.3	14.3	17.1	16.2	13.2



- (1) 今回調査では、設備投資を実施した企業は全回答先の26.7%と、前期比3.6ポイント減少した。先行きについては、26年10~12月では33.0%、27年1~3月では22.2%の企業が実施見込となっており、27年第一四半期は設備は減少予想となっている。

実施の目的別では、「生産能力拡大」とするポイントが依然高いが、今期は「省力・合理化」とするポイントが前期比大幅増加した。

- (2) 業種別で、設備投資の高いのは、製造業では「出版印刷紙加工」「電子部品製造」「木工建具製造」となっている。

非製造業では、「機械工具販売」「運送業」が設備投資を行った企業が多い。

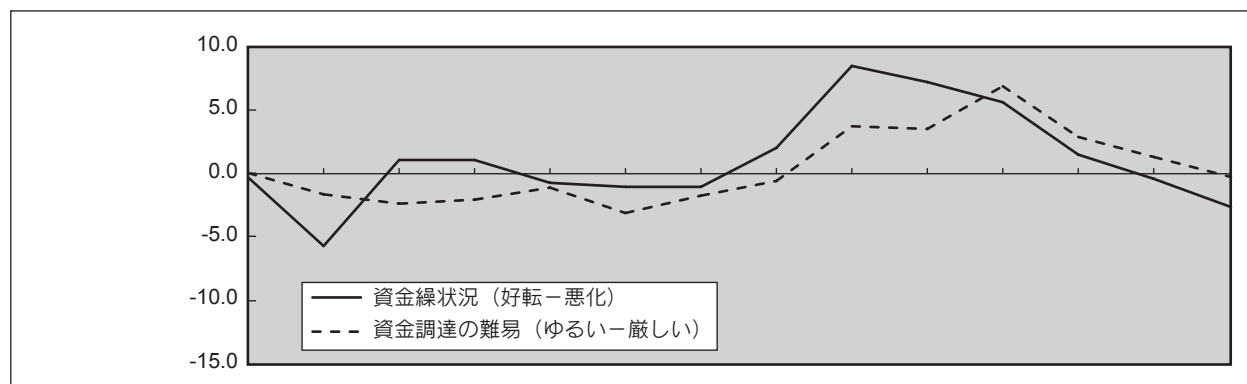
先行きについては、「医薬品製造」「電子部品製造」の設備投資予定は高いポイントとなっている。

VII. 資金繰り状況

資金繰り状況（好転－悪化）

(%) 見込 予測

期別 種別	23年	24年				25年				26年				27年
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月
好転	9.9	7.0	11.8	10.9	9.5	8.6	10.1	8.8	13.9	14.1	10.4	10.0	7.3	5.4
変わらず	79.8	80.3	77.4	79.3	80.3	81.6	78.8	84.4	80.8	79.1	84.9	81.6	84.9	86.4
悪化	10.3	12.7	10.8	9.9	10.2	9.8	11.2	6.8	5.3	6.8	4.8	8.4	7.7	8.1
D . I .	-0.3	-5.7	1.0	1.0	-0.8	-1.1	-1.1	2.0	8.5	7.2	5.6	1.5	-0.4	-2.7



資金調達の難易（ゆるい－厳しい）

(%) 見込 予測

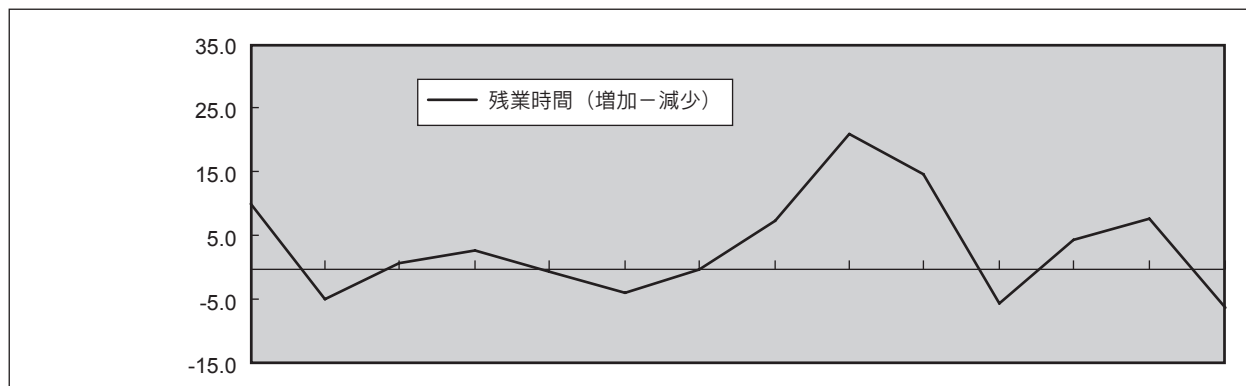
期別 種別	23年	24年				25年				26年				27年
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月
ゆるい	12.6	12.5	12.3	10.8	11.3	11.7	11.4	11.1	14.8	14.3	14.6	11.2	10.6	10.6
厳しくない	74.8	73.3	73.0	76.3	76.3	73.4	75.3	77.1	74.2	74.8	77.7	80.3	80.0	78.5
厳しい	12.6	14.2	14.7	12.9	12.5	14.8	13.3	11.8	11.1	10.9	7.7	8.4	9.4	11.0
D . I .	0.0	-1.7	-2.5	-2.1	-1.2	-3.1	-1.8	-0.7	3.7	3.5	6.9	2.8	1.2	-0.4

- (1) 資金繰り状況D.I.「好転－悪化」実績は、1.5と前期比悪化となった。
資金繰り状況のポイントは、低下してきており、先行きについても、10～12月は▲0.4、27年1～3月期は▲2.7と悪化となっている。
- (2) 資金調達の難易D.I.「ゆるい－厳しい」では、2.8となり、前期より悪化している。
D.I.は悪化してきており、先行きについてもポイントは悪化予想となっている。
資金調達も序所に、厳しい状況となってきていることがうかがわれる。
先行き、厳しいとのポイントが高い主な業種は、「宿泊業」「医薬品製造」となっている。

VIII. 労務事情

残業時間

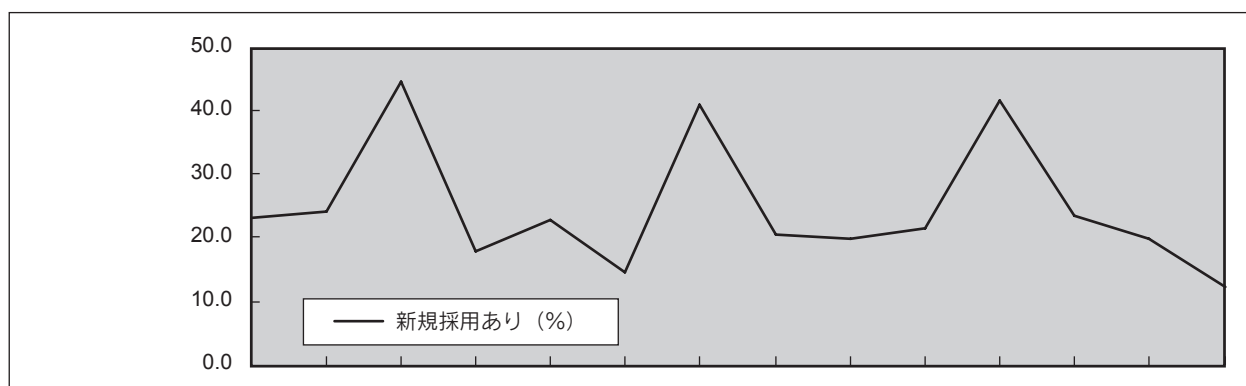
		(%)													見込	予測			
種別	期別	23年				24年				25年				26年				27年	
		10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月				
増加		20.1	14.8	12.7	13.3	12.7	12.0	13.3	15.4	26.3	23.6	8.8	13.1	16.6	9.4				
横ばい		69.7	65.5	75.4	76.0	73.7	71.8	73.0	76.6	68.6	67.5	76.8	78.1	74.5	75.3				
減少		10.2	19.7	11.9	10.6	13.6	16.2	13.7	8.1	5.1	8.9	14.5	8.9	8.9	15.3				
D.I.		9.9	-4.9	0.8	2.7	-0.8	-4.1	-0.4	7.3	21.2	14.6	-5.7	4.2	7.7	-6.0				



- (1) 残業時間D.I.は26年7~9月期4.2となり、前期比増加した。
 残業時間は、年末に向け増加予想であり、27年の1~3月期は減少予想となっている。

新規採用実績(採用あり：%) ※常用・臨時合算

		(%)													見込	予測			
種別	期別	23年				24年				25年				26年				27年	
		10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月				
全産業		22.9	24.0	44.6	17.7	22.6	14.3	40.9	20.3	19.6	21.2	41.5	23.4	19.5	12.3				
(うち製造業)		18.6	20.0	48.9	17.6	16.1	13.6	40.2	20.0	18.1	23.8	45.5	25.9	18.5	12.0				
(うち非製造業)		26.5	27.1	41.3	17.8	27.9	14.9	41.4	20.5	20.9	19.0	37.9	21.6	20.3	12.5				

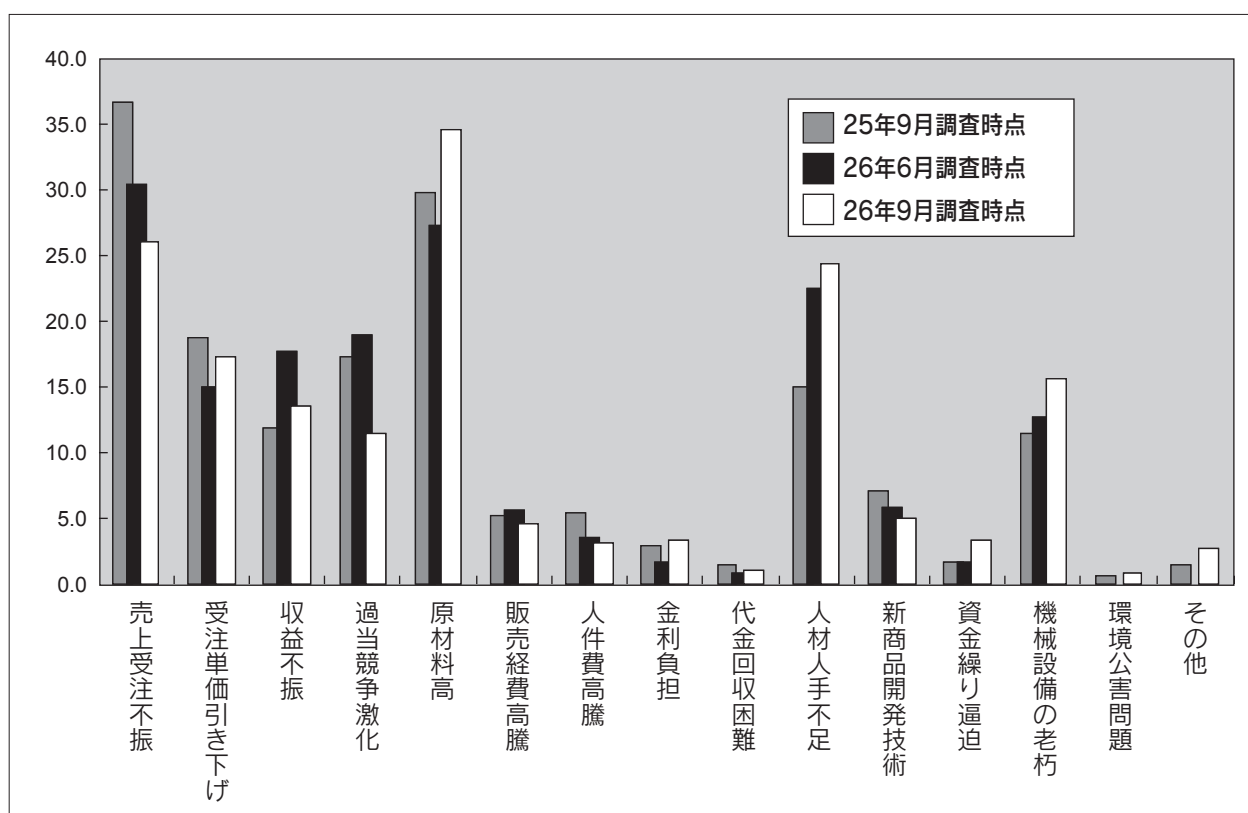


- (2) 新規採用集計は、常用雇用・臨時雇用合算で集計している。集計を見ると、前年同期に比べ、3.1ポイント増加している。製造業では5.9ポイント、非製造業は1.1ポイント増加し、採用は増加してきている。先行きは例年どおり、減少予想である。

IX. 当面の経営上の問題点

(%：複数回答あり)

	25年9月 (前年同期)	26年6月 (前回)	26年9月 (今回)	前回比増減		
				(うち製造業)	(うち非製造業)	
売上受注不振	36.5	30.3	26.0	(29.4)	(23.5)	-4.3
受注単価引き下げ	18.6	15.0	17.2	(25.7)	(11.1)	2.2
収益不振	11.8	17.7	13.4	(14.7)	(12.4)	-4.3
過当競争激化	17.2	18.9	11.5	(9.2)	(13.1)	-7.4
原材料高	29.7	27.2	34.4	(35.8)	(33.3)	7.2
販売経費高騰	5.1	5.5	4.6	(2.8)	(5.9)	-0.9
人件費高騰	5.4	3.5	3.1	(0.0)	(5.2)	-0.4
金利負担	3.0	1.6	3.4	(1.8)	(4.6)	1.8
代金回収困難	1.4	0.8	1.1	(0.0)	(2.0)	0.3
人材人手不足	14.9	22.4	24.4	(19.3)	(28.1)	2.0
新商品開発技術	7.1	5.9	5.0	(9.2)	(2.0)	-0.9
資金繰り逼迫	1.7	1.6	3.4	(0.0)	(5.9)	1.8
機械設備の老朽	11.5	12.6	15.6	(18.3)	(13.7)	3.0
環境公害問題	0.7	0.0	0.8	(0.9)	(0.7)	0.8
その他	1.4	0.0	2.7	(1.8)	(3.3)	2.7



- 今回の調査の全産業での当面の経営上の問題点をみると、①原材料高34.3%（前期比+7.2ポイント）、②売上受注不振26.0%（前期比▲4.3ポイント）③人材人手不足24.4%（前期比+2.0ポイント）の順になっている。
- 今回調査では、原材料高が問題点とするポイントが最も高くなった。また機械設備の老朽を問題とするポイントも増加した。
- 問題点の原材料高で最も高いポイントの業種は、プラスチック製造と機械工具販売業となっている。また、売上受注不振では医薬品製造業、人材人手不足は医療福祉となっている。

X. 平成26年4月からの消費税引き上げの影響

		実績	見込	予測 (%)
項 目		26年7～9月	26年10～12月	27年1～3月
売上高	好 転	6.7	6.3	4.0
	悪 化	22.0	16.9	16.6
	影響なし	71.3	76.8	79.4
仕入高	好 転	0.8	1.2	2.0
	悪 化	29.2	22.8	22.2
	影響なし	70.0	76.0	75.8
営業利益	好 転	3.9	4.7	4.8
	悪 化	28.3	22.0	21.8
	影響なし	67.8	73.2	77.4

(1) 4月からの消費税引き上げは、売上高へ影響があった企業は、回答企業の約30%が影響があったと回答があった。うち悪化したとの回答は22%となる。

前回調査より、3.2ポイント減少している。

(2) 仕入高への影響は、30%が影響ありと回答があった。うち、悪化との回答が29.2%であり、前回調査比6.8ポイント増加した。

(3) 営業利益は、28.3%が悪化したと回答があった。前回調査比2.3ポイント増加となっている。

先行きについても、影響ありが20%台であり、前回調査時の予想より、影響は長期に及んでいる。